

(↑Times New Roman, 10 pt, 1 行あける)

[illegible]

改行し，英文による著者名を Times New Roman 10 pt,

中央揃えで記入する。姓(Family Name)は、大文字のみを用いて表示する。連名の場合、講演者名の前に○印をつけ、各著者名はカンマ(,)で区切る。次の行に英文による所属、住所、その下に代表者氏名および電子メールアドレスを記入する。

3.3 英文アブストラクト

1行あけて英文アブストラクトを15～20行、Times New Roman 9 pt, シングルスペースで記入する。

4. 本文

4.1 見出し

見出しは、「2. ○○○」(節)、「2.1 △△△」(項)のように通し番号をつけ、左揃え、インデントなし、それぞれMSゴシック10 pt, MSゴシック9 ptで記入する。節の見出しは、前の本文の後に1行あける。

4.2 数式

数式は以下の例のように、10 pt, 中央近くにインデントし、式番号を右揃えで記入する。上付き・下付き文字は6 ptとする。数式はOffice Mathで作成する場合はLatin Modern Mathなどのフォントを使用するのが望ましい。

$$\mu' = \mu_0 / (1 - \alpha p_v) \quad (1)$$

式中では、分数はなるべく a/b のような行形式にする。本文中で式を参照する場合は、式(1)のように記述する。

4.3 図表

図表は必ず本文で参照し、該当箇所の近くに配置する。本文中で図表を引用する場合には、図1や表1のように記述する。

Table 1 Empirical equation of suspensions

Author	Year	Expression
Hatschek	1911	$\mu_s = \frac{\mu_0}{1 - p_v^{1/3}}$
Taylor	1932	$\mu_r = \mu_s / \mu_0 = 1 + f p_v$

図は見やすく大きめのものを用意し、グレースケールやカラー画像(文字)は印刷時に不鮮明にならないよう注意して使用する。

図表中の文字・語句はすべて英語で記入し、本文の文字と同程度の大きさにする。図および表のキャプションは9 ptの英文で記入する。説明句が複数行にまたがる場合はシングルスペースで改行する。図1および表1に図表記載の例を示す。

5. 記号

記号は、本文終了後1行あけ、10 ptのボールド体で**NOMENCLATURE**と標記して改行し、10 pt文字、シングルスペースで記号説明を英文で列記する。用紙に余裕がない場合は省略してもかまわないが、その場合は必ず本文中で記号・単位を説明する。参考例を本執筆要綱

の後に示す。

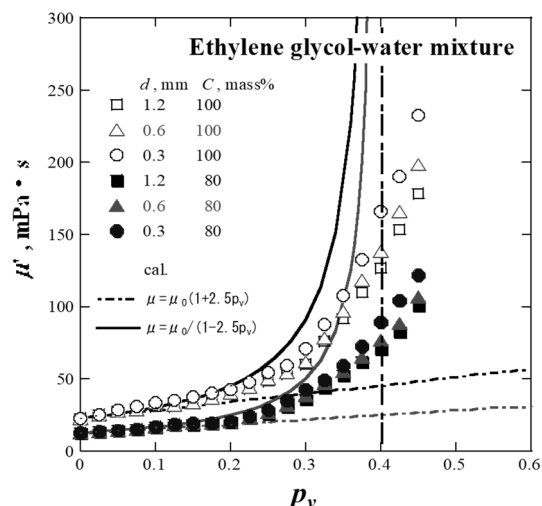


Fig. 1 Relationship between the effective viscosity and the fraction of solid phase.

6. 参考文献

本文中で文献を引用する際は、[1], [2,3], または[4-6]のように通し番号を付けて引用する。

参考文献リストは記号表の後に1行あけ、10 ptボールド体で**REFERENCE(S)**と標記して改行し、番号順にシングルスペースで列記する。

和文の文献は英訳して記載する。文献の著者が複数の場合は、可能な限り著者全員の名を記載する。著者名の間のandは省略してもよい。また、論文題目も記載するのが望ましい。雑誌名を省略標記するときは、Chemical Abstract誌による(またはISO 833に準拠すること)。

本執筆要綱の最後に、雑誌[1], 書籍[2], 予稿集[3]の場合の参考文献リストの例を示す。

NOMENCLATURE

D :	diameter, mm
C :	concentration, %
μ' :	effective viscosity, Pa · s
p_v :	solid phase volume fraction

REFERENCES

- [1] A.Einstein, "A New Determination of Molecular Dimensions", Ann. Phys.,19(1906), 289.
- [2] S.E.Charm, G.S.Kurland, "Blood Rheology in Cardiovascular Fluid Dynamics", Vol.2, Chap.15, Academic Press, London (1972), 157-203.
- [3] T.Yokohama, H.Fukuzawa, Proc.31st Jpn. Symp.Thermophys. Prop., Fukuoka (2010), A233.